

パネルディスカッション：悠久の森事業とは

呉羽丘陵「悠久の森」総合プロデューサー

小林 福治

平成23年1月29日(土)

悠久の森事業とは

呉羽丘陵「悠久の森」

総合プロデューサー 小林 福治

我が里山「くれは丘陵」



我が里山「くれは丘陵」



「悠久の森事業」とは

くれは丘陵を舞台に、荒廃する里山を再び蘇らせ、時代にあった新しい里山再生モデルを創造する運動である。

運動の基本(目的)

森を元気に
人を元気に
命を元気に

自然との共生による地域づくり



「悠久の森事業」

1回目・・・2007 テーマ **〔サイ〕**

いにしえより人々は豊かな里山と共に暮らしていた
里山が消え、森も人の暮らしも変わった。
自然の中で、人が育んできた情緒的な心も失われていった



くれは丘陵に、新しい里山を作り出す運動

悠久の森2007サイ参加者数

2日間 11,763人



地域住民は、参加のみ

「悠久の森事業」

2回目・・・2008

テーマ **〔森とあそぼう〕**

くれば丘陵一帯の地域住民主体型・・・「一押し先生」



得意技の披露



メイン 旭山動物園 小菅園長
絵本作家 あべ弘士さん 2008の参加者数
2日間 14,831人
一押し先生 (45個人及びグループ)



音・舞・技・旅・食・遊

「悠久の森事業」

3回目・・・2009

参加者数
1日間 7,426名

テーマ **〔森とはなそう〕**

くれば丘陵一帯の地域住民主体型・・・「一押し先生」



森にとけこめ



メイン 歴史家 小林達雄先生
ツリーハウスクリエーター 小林 崇先生
一押し先生 (32個人及びグループ)



食・技・遊

「悠久の森事業」

4回目・・・2010

参加者数 (土曜日6時より)
2日間 10,992名

テーマ **〔森と語ろう〕**

くれば丘陵一帯の地域住民主体型・・・「一押し先生」
桜谷・神明・五福も参加、ESDも加わる



郷土博物館学芸員 萩原大輔先生
 県立大教授 冒険家 九里徳泰先生
 高専技術専門員 伊藤通子先生
 寒江小校長 山本 茂先生
 ファミリーパーク園長 山本茂行先生

メイン

一押し先生（47個人及びグループ）

食・技・遊



大人の真剣に取り組む姿を子どもは見ている



「悠久の森事業」

学びはどこにあるか ⇄ 大人が学び伝える

ワクワク感 累代教育 憧れ

郷土の自然を郷土の人に伝える

丘陵が持つ自然・人・民俗・文化・歴史の多様な資源を結びつける

大人も子どもも互いに、気づき・考え・実行

人が入らなくなった
森は暗い



人の手が入った森は明るい



開発ではない、里山再生である



